

---

# すきキライ

遙風 霸鶴渡

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

すきキレイ

### 【Zマーク】

Z0772F

### 【作者名】

遙風 翱鶴渡

### 【あらすじ】

ヒロは、今日もお母さんに好き嫌いを注意される。

「 ハハハ 、 ヒロちゃん、 好き嫌いしないの？ 」

「ええええつ！ だつて、こんな赤いの気持ち悪いよおつ！」

ぐるぐるパンチパークのお母さんが、好き嫌いの激しいヒロを叱つている。

「何言つてゐるのー。赤いから栄養があるんじやないつ。太陽をさんさん浴びて、ちゃんと育つたのに粗末にするなんて許しません！」

鬼その者の、お母さんの顔を見て、ヒロは嫌々フォークで赤い物を一つにわける。

中からは、じりりと変な物が飛び出してきた。

「だつて気持ち悪いじゃんつー。何つ、このドロドロつ」

ヒロの悲鳴に、お母さんさまよめす田代をキツくする。

「うるさいわねえええ、そじが栄養なんぢやない！ わかつたら、わつやと食つ」

ヒロは、げつそつしながらナイフでそれを一口サイズに切り分けると、フォークで突き刺して口の中へ放り込んだ。

何とも言えない酸味と渋味……ヒロは、ついと口を出したいのをじらせる。

独特の食感が堪らなく気持ち悪い。

もつ勘弁して……と上田遣いで見てみても、お母さんはジロリって完食する事を促す。

「お父さんはいいのつー寝てるんだかひつ

「じゅあたつ、煮みつよつー、僕、生なんて食べられないー。」

ヒロの必死の抵抗は、見えなく丸めこまれた。

ヒロの申し出を聞いたお母さんは、皿のコブシでテーブルに衝撃を加えた。

「生がいいんじゃない！ 新鮮で！」

低いお母さんの声に完敗して、ヒロは皿に皿を落とす。ヒロがナイフを動かす度に……皿の上の物は、プチヤツ、プチヤツと音をたてる。

ヒロとお母さんが食事をしているテーブルの横では、テレビをつけっぱなしのお父さんが、ソファーの上で眠っている。

お父さんの皿は、開きっぱなしだ。胸の真ん中あたりが、えぐられたら様にくロンでいて、皿にシャツを赤く染めたままにしている。

ヒロはよく皿が乾かないな、と思いつがりお母さんに尋ねる。

「お父さん、こいつ起きたの？」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0772f/>

---

すきキライ

2011年1月27日14時53分発行